



地元のヒーロー

県央



「飛べないし、消えないし、変身できない。でも困ったことがあったら必ず駆け付ける」。武蔵浦和に登場した5人のヒーロー「ひまわり戦隊コミセンジャーMUSASHI」が29日、さいたま市武蔵浦和コミュニティセンターで行われる「武蔵浦和コミセンまつり」で開催される。メンバーは仕上げの稽古に励んでいる。

「ひまわり戦隊コミセンジャーMUSASHI」は、同センターのキャラクターとして昨年11月の「コミセンまつり」に初登場。今年から情熱のコミレッド、正義のコミブルー、希望のコミイエロー、友愛のコミピンク、平和のコミグリーンの5人体制となった。胸にはコミュニティの頭文字「C」があらわれ、地域コミュニティの活性

戦隊 29日 武蔵浦和に登場



ニアの部で優勝した「転輪太鼓 風雲児」さいたま市大宮区の大宮ソニックシティ大ホ太鼓協会提供



は全員が黒い衣装の床が抜けると思

清酒 奈良 浦和 漬物

浦和名物

電話 048(822)2110

別審査員で行い、各部門別の優勝と準優勝が発表された。同協会の諏訪幸男会長は「来年から南日本大会も開催されることが決まっている。これからも日本太鼓協会の活動として、多くの皆さまに和

浦和ロータリークラブは、川口市立戸塚西中学校にゲストティーチャーを派遣した。講師は東日本電信電話埼玉支店や伊勢丹浦和店など県内企業・事業所のトップら同クラブの会員14人で、総学習の時間を利用して事業の歴史や仕事内容を説明しながら授業を行った。

授業は1年生を対象に行われ、生徒たちは13の職業の中から興味のある授業二つに参加。生徒たちは、普段接する

川口・戸塚西中に企業トップを派遣

浦和RC

「タウン記者・村尾耕一」

うほど、ダイナミックに踊った写真。5年生の群読「スパー5年生号物語」は、列車の進行になぞらえて学校行事を振り返った。

機会のない各企業トップらが語る仕事への思い、質問への回答に熱心に耳を傾けていた。授業後の感想文には「60年も同じ仕事をしていて、好きなんだなと思った」「これからは何かを買っていいものだったらお店に感謝を伝えたい」など率直で素朴な感想が寄せられた。

◇幸手市

11月定例会は27日開会。一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案、一般会計補正予算案(補正額92550万円)などの22議案が提案される。会期は12月22日までの26日間。一般質問は同月2、3、4、8日の4日間。

株や証券の仕組みについて説明するSMBC日興証券浦和支店の大角敏子支店長(川口市立戸塚西中学校)



議 会

地球環境を考えた 太陽光自動追尾式発電 ウィンゲローラー・スカイリングローラー

GPS内蔵のコンピューター制御で、太陽を自動追尾。固定式に比べ1.5倍以上の発電量。地球環境を考えた